

滋賀県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜 確認！（国内23例目）

12月13日、滋賀県東近江市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI H5亜型）の疑似患畜が確認されました。国内23例目の発生となります。引き続き野鳥・野生動物侵入防止や、石灰散布等による消毒などの発生予防対策の徹底をお願いします。

愛玩用の飼育者のみなさまにおかれましても、消毒の励行をお願いします。

滋賀県東近江市(23例目)



★23例目

【農場の概要】

- ・農場所在地 滋賀県東近江市
- ・飼養状況 採卵鶏 約1.1万羽

【経緯】

- ・12月12日、死亡羽数増加の通報を受け滋賀県が立入検査を実施し、簡易検査で陽性を確認。
- ・12月13日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。防疫指針に基づき疫学関連農場も疑似患畜と確認。

▶家きん舎には様々な経路からウイルスが侵入します。今一度、点検・確認と補修をお願いします。

- 防鳥ネットなどによる野鳥やネズミ等の家きん舎への侵入防止
- 農場に入る車両の徹底消毒
- 家きん舎ごとに、専用の長靴や作業服の着用
- 家きん舎に出入りする時の手指消毒
- 家きん舎に入る人や物品の徹底消毒
- 踏み込み消毒槽は、消毒薬が汚れたら交換

▶毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へ通報を！